

10/19 3:30

国連総会は緊急特別会合で、イスラエルとイスラム組織ハマスの交戦が続くパレスチナ自治区ガザに関して「即時、永続可能、持続的な人道的休戦」を求める決議を採択しました。採択に必要な投票総数の3分の2以上の122カ国が賛成しました。アラブ諸国を代表してヨルダンが提案し、45カ国以上が共同提案に加わりました。総会決議は法的拘束力はないものの、国連安全保障理事会が一致した行動をとれない中で国際社会の意思を示しました。イスラエルとハマスは直ちに決議を受け入れ、戦闘を停止すべきです。

地上侵攻の強行許されぬ
7日深夜に占領攻撃とイスラエルによる報復攻撃が始まって

主張

国連ガザ休戦決議

から安保理で4回、決議案が採決にかけられましたが、常任理事国（うち米国、ロシア、中国）がそれの意思で拒否権行使し採択されませんでした。

その間にもガザではイスラエルによる激しい空爆で死傷者が急増し、電力、水、食料、燃料の欠乏

「ガザ地区における壊滅的人道状況」「主に子どもたちを含む一般市民への甚大な影響」を開示するため、人道支援物資が届くよう努めています。急速に高まった国際世論を反映した

内容です。イスラエルは決議に反対し、緊急特別会合の開催を拒否しました。ハマスによる無差別攻撃に対する自衛の名で正当化されるものではありません。

壊滅的な人道状況 即刻止めよ

決議は双方の市民に対する暴力を非難

で200万人を超える住民の命の危機が深まっています。

決議は「すべてのテロ行為も無差別攻撃」「パレスチナとイスラエルの市民を狙ったすべての暴力行為」を非難し、国際人道法に基づいて民間人が保護されなければならぬことを強調しています。

地上侵攻の強行許されぬ
7日深夜に占領攻撃とイスラエルによる報復攻撃が始まって

イスラエルを名指しで非難せず、ハマスによるテロと人質拘束を非難する文言を加えるよう求めた方針の修正案は採択に必要な賛成数を得られませんでした。討

クセスの確保を求めていました。急に高まった国際世論を反映した決議に反対しました。イスラエルのガザ攻撃は、住民全體に懲罰を加える国際人道法違反の行為であります。ハマスによる無差別攻撃に対する自衛の名で正当化されるものではありません。

戦闘停止の声を世界で

米国はイスラエルの自衛権が明記されていないことなどを理由に決議に反対しました。イスラエルはガザ攻撃は、住民全體に懲罰を加える国際人道法違反の行為であります。ハマスによる無差別攻撃に対する自衛の名で正当化されるものではありません。

戦闘停止には一刻猶予もありません。決議を受けた国際機関と各國政府の外交努力が急がれます。戦闘を即刻止めよとの声を世界で高めることが必要です。